

議会だより

2024年 2 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



12月定例会

第4回定例会は12月7日から開会され、町長から提案のあった補正予算など15議案を審議し、いずれも原案通り可決、12日に一般質問等を行って閉会しました。



補正予算の主なもの

◆十勝ロイヤルホテルダムウ

エーター改修事業補助金

264万円

十勝ロイヤルホテルにおける食事配膳用ダムウエーターの老朽化に伴う改修費用の補助

◆戸籍・住民基本台帳システム

ム等改修業務(繰越明許費)

1085万円

戸籍・住民基本台帳システムの改修に係る費用

※繰越明許費とは

歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用できる経費のこと。

◆物価高騰対応重点支援

地方創生臨時給付金

3150万円

住民税非課税世帯等への生活支援策として、1世帯当たり7万円を上限に豊頃町商店会共通商品券で給付するもの

◆はるにれToyokoro

施設改修事業補助金

2000万円

地域密着型特養施設はるにれToyokoroのボイラー修繕に伴う費用の補助

◆町有牧野管理運営委託料

1315万円

町有牧野の管理において、町内で発生している家畜伝染病に伴う入牧頭数の減少による収入の減や、物価高騰の影響による経費の増加など管理経費の不足分を補填するもの

◆秋サケ資源増大緊急支援事業

1381万円

漁業者が負担する秋サケ孵化放流事業負担金の暫定的な増加分を軽減するための補助金

◆幌岡第3幹線改良舗装工事

1792万円

社会資本整備総合交付金事業により、幌岡第3幹線について追加の舗装工事を実施するもの

◆大津小学校エアコン

設置工事

160万円

夏期の猛暑対策のため、大津小学校にエアコンを設置するもの

会計名	補正額	総額
一般会計(第6号)	8,537万円	63億4,575万円
国民健康保険特別会計(第1号)	61万円	5億7,346万円
介護保険特別会計(第1号)	1,835万円	3億9,773万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	52万円	6,977万円
簡易水道特別会計(第2号)	280万円	3億1,681万円
公共下水道特別会計(第2号)	▲3,648万円	2億2,034万円

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入して
います。

【条例制定・改正等】

▼ 豊頃町印鑑の登録及び証明に
関する条例の一部改正
マイナンバーカードを利用し、
印鑑登録証明書をコンビニ等に設
置している多機能端末機で交付す
ることができるようにするもの。

▼ 豊頃町国民健康保険条例の
一部改正
子育て世帯の負担軽減のため、
国民健康保険税のうち出産をする
被保険者の産前産後相当期間（単
胎妊娠は4か月分、多胎妊娠は6
か月分）の所得割額及び均等割額
を減額するもの。

▼ 豊頃町有牧野管理条例の一部
改正
湧洞牧場・二宮牧場の位置の地
番の変更及び預託する牛1頭当た
りの預託使用料を250円から3
00円に引き上げるもの。

▼ 豊頃町公共下水道事業の設置
等に関する条例の制定 及び
▼ 豊頃町簡易水道事業の設置等
に関する条例の制定

令和6年4月1日から、豊頃町
公共下水道事業及び豊頃町簡易水
道事業に地方公営企業法を適用す

るため、新たに関係する条例を制
定するもの。

▼ 豊頃町簡易水道事業及び下水
道事業に地方公営企業法の財務
規定等を適用することに伴う関係
条例の整備に関する条例の制定
豊頃町簡易水道事業及び豊頃町
公共下水道事業に地方公営企業法
を適用することに伴い、関係する
条例の整備をするもの。

【人事案件】

▼ 豊頃町選挙管理委員の選挙
令和5年12月23日で任期満了と
なる選挙管理委員について、議会
において選挙を行った結果、次の
4名が当選となりました。
○小野木英毅氏（再任） 豊頃
○津久井精一氏（再任） 礼作別
○半谷 徳辰氏（再任） 二宮
○中村 哲蔵氏（再任） 大津寿町
なお任期は令和5年12月24日か
ら令和9年12月23日までの4年間
です。

▼ 豊頃町選挙管理委員補充員の
選挙
選挙管理委員同様に任期満了と
なる選挙管理委員補充員について、
議会において選挙を行った結果、
次の4名が当選となりました。

○第1順位 前田 精一氏（再任）
二宮
○第2順位 山田 隆信氏（再任）
大津幸町
○第3順位 鈴木 茂氏（再任）
茂岩栄町
○第4順位 按田 紘吉氏（新任）
十弗
なお任期は令和5年12月24日か
ら令和9年12月23日までの4年間
です。

【その他の議案】

▼ 物品の取得
○豊頃小学校改修備品 1式
契約金額は2,508万円。
納入期限は令和6年3月25日。
○豊頃中学校改築備品 1式
契約金額は2,937万円。
納入期限は令和6年3月25日。

主な審議内容

補正予算

○小笠原議員 人件費の部分で、
退職手当組合負担金が大幅に減
額補正となっているのは人事院
勧告による影響か。

○職員 職員の定年延長に伴い、今後
10年間は2年に1度しか定年

退職者が生じないため、負担金の
率が半減されることによるもの。

○藤田議員 町有牧野管理委託
料の増額補正の内訳は。

○町内でのヨーネ病発生に伴う
牛の入牧頭数の減少、資材等
の価格高騰に伴い、想定よりも支
出経費が増額したことによる経費
の不足に対する補填。

○小笠原議員 大津小学校の工
アコン設置により、町内全ての
小中学校にエアコンが設置され
ることになるのか。

○町内の小学校2校（豊頃・大
津）及び中学校1校すべてに
設置され、次年度以降の夏季の猛
暑に対応可能となる。

お詫び

とよころ議会だより第116号の記載
内容の一部に誤りがありました。訂正
しお詫びいたします。

【訂正箇所】
広報とよころ11月号 25ページ
議会だより内
「福島県相馬市議会 議会運営委員会
行政視察」 3段落目
(誤) 二宮報徳神社
→ (正) 報徳二宮神社

一般質問

带状疱疹ワクチンへの助成について



大谷友則 議員

Q 带状疱疹は早めの予防が大切であるが、ワクチンが高額であるため、町民の安心・安全な生活を守るためにもワクチン接種に対し助成が出来るか。

A 按田町長

現在、国において予防接種法に基づいて行う定期予防接種への追加が検討されており、ワクチンに期待される効果や導入年齢等に関して検証、評価が進められていることから、国の動向等を注視しつつ検討していきたい。

なお、ワクチン接種の費用は高

ICT及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の現状と今後について



小笠原玄記 議員

Q 保育分野におけるICT及びDXの活用状況は。また今後予定している取り組みについての考えは。

A 按田町長

子育て支援所においては、令和4年度にWiFiを整備し10台のタブレット端末を整備した。この端末は保育士が保育日誌や週間計画、写真の編集作業等に利用しており、これまでの手書き作業から事務が簡素化され、事務の効率化が図られている。

このほか保育所と保護者をつなぐ情報発信ツールとして、緊急のお知らせや連絡

額であるという事は認識しており、現在十勝管内において2町がすでに助成を行っているという状況である。国や他町の状況等もしっかりと把握しながら前向きに検討していきたい。

網に「マチコミメール」を活用して、リアルタイムな情報を発信し、電話連絡などアナログな方法による職員の不便さの解消、業務時間の短縮及び保護者等へのサービス向上を図っている。

今後デジタル技術の導入による保育現場での業務や事務作業の効率化による仕事量の削減を実現し、保育の質を高め、子どもたちの健全育成に努める。

Q 町公式LINEの登録者数、稼働状況及び運用に伴う職員の業務負担の状況は。また今後の方針や改善点についての考えは。

A 按田町長

12月1日現在、登録者数は718人（町民全体の約25%）となっており、生活に関するお知らせやその日の出来事をほぼ毎日発信している。業務量については配信までに取材や配信内容の精査等の業務はあるものの、配信操作自体は簡易で、過度な負担量ではないと認識している。

現在プレミアム付特別商品券の事前受付やアンケート等にも活用しているが、町民と行政双方が手続き等を簡素化出来るよう、更なる利用登録者の拡大に向けて取り組んでいく。

また各所から町のPRが足りないのではという声をいただいたおり、公式LINEを活用した町の情報発信についても進めていきたい。

Q 業務効率化を主とした役場業務におけるICT及びDXの活用についての現状は。また業務効率化、超過勤務時間削減に向けた対策・組織づくりについての町長の考えは。

A 按田町長

現在の役場業務は国や道その他関係機関とデジタルネットワークで結ばれ、様々なシステムでのやり取りを行っており、それに伴って職員は法律や制度の理解とともにシステム操作スキルの向上が求められる。一般的にICT化が進むと業務効率化がなされるイメージだが、地方行政においては業務過多により、超過勤務が増加しているという現状である。

業務効率化、都市と地方の格差是正などの観点から、ICT・DXの導入は必要だと認識しているが、超過勤務の削減についてはICTだけでなく様々な対策があると考えており、職員の健康管理を含め超過勤務時間削減に向けた努力は必要であると認識している。



豊頃町ふるさと応援基金の活用について

Q 令和5年度予算で、ふるさと応援基金を活用した豊頃小学校改修備品購入費が計上されているが、現在の執行状況は。また活用実績の公開時期についての考えは。

A 按田町長
備品の購入については、12月5日の入札、12月7日の議会の議決を経て業者と契約を締結し、現在納品に向けて準備を進めているところである。
基金の活用実績の公開については、今年度終了後に町広報誌等により公表する。

Q ふるさと応援基金の活用用途について、小学校改修備品以外の今後の使用用途は検討中としていたが現在の状況は。また使用用途について、次年度以降給食費の一部に充当して使う考えはないか。

A 按田町長
基金の今後の活用用途について、現時点ではどの事業に充当するか確定していないが、町の活性化やPR効果のある事業に充当していきたいと考えている。
給食費のような経常的な経費に

対して基金を活用する考えはないが、豊頃町を応援してくださる皆様からの貴重な財源であるため、慎重に用途を検討していきたい。



岩井 明 議員

ジェンダー平等への取り組み等について

Q 管理職や審議会への女性の積極的な登用等を進めることが必要と考えるが、町長の見解は。

A 按田町長
女性の積極的な登用に關しては、非常に重要なことだと認識しており、町職員については、係長職をはじめ管理職において、男性職員と同様に女性職員の登用を進めている。
各種委員会の委員については、選考段階で女性の登用に努力しているが、承諾いただける方が少なく、女性委員の比率向上が進んでいないところである。
今後女性職員の活躍推進に向けて、男女間での隔たりのない管理職への登用、多様なポストへの配置、職員採用を推進することも

に、男女対等な意見を町政に反映させることを目指して、各種委員会等への女性委員の登用を積極的に進めてまいりたい。

第2回臨時会

(11月24日開催)

補正予算

▼ 令和5年度一般会計補正予算 (第5号)

原油価格や物価の高騰を受けての生活支援対策として、福祉灯油等支給事業の拡大、農業・漁業における燃油高騰対策事業、プレミアム付特別商品券発行事業の拡大に係る予算として、5,610万円を追加し、予算総額を62億6,037万8千円とする補正予算。
原案のとおり可決しました。

条例改正等

- ▼ 豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正 及び
- ▼ 豊頃町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 及び
- ▼ 豊頃町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正 及び
- ▼ 豊頃町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の

一部改正

令和5年人事院勧告に基づく国家公務員の給与に關係する法律の改正に伴う豊頃町職員(正職員、再任用職員及び会計年度任用職員)の期末手当及び勤勉手当の支給率の引き上げ及び給料表の改正による給料の引き上げ、豊頃町議会議員・豊頃町長等の特別職の期末手当の支給率の引き上げをするもの。
原案のとおり可決しました。

【主な審議内容】

補正予算

Q 小笠原議員 燃油高騰対策事業交付金における事業の詳細は。

A 急激な円安、不安定な世界情勢に伴う燃油価格高騰への対策として、国による燃料油価格激変緩和対策事業の実施前である令和3年と現在の軽油の平均単価の差額分(1リットル当たり14円)を補助するもの。

Q 穴崎議員 福祉灯油支給分の引き上げと、プレミアム付特別商品券のプレミアム率の引き上げは、今回だけの実施か。

A 福祉灯油・プレミアム付特別商品券共に今回だけの措置として考えている。今後の措置については情勢等を見極め判断する。

総務文教常任 委員会レポート

総務文教常任委員会（大谷友則委員長）は、10月18日、旧グループホームの活用について、担当課からの説明聴取及び現地調査を行いました。

1 調査の経過と結果

令和3年12月15日に町が丸信産業株式会社から寄附等を受けた旧グループホームの活用状況等について調査を実施した。



施設概要等の聞き取り

(1) 施設の概要について

当該施設は平成21年2月に地域密着型の認知症グループホームとしてオープンし、本町の介護福祉施設の向上に尽力されていたが、諸般の事情により令和元年度をもって事業が廃止され、その後、令和3年12月に寄附等により施設が町に引き継がれている。

施設の延べ面積は361.26平方メートルで個室が9部屋、その他に厨房、食堂、浴室、洗濯室

及びトイレなどがあり多目的に使用できる施設となっている。

(2) 施設整備について

8月1日から施設を「多目的施設」として活用の検証を実施するに当たり施設整備費として216万7,475円を支出して施設南側外構修繕、施設内個室カーペット張り修繕、施設内清掃及び冷蔵庫庫、洗濯機、炊飯器、電子レンジ、掃除機、テレビ、食器棚、テーブルなどの備品購入等を実施している。

(3) 施設利用の周知について

町のホームページ、広報及びLINEを利用し施設のプレオープンを周知し利用者を募っており9団体延べ124人が54日間施設を利用する応募があった。

(4) 施設の利用状況について

調査時点までの利用状況は、7団体延べ109人が43日間施設を利用しており、道内外からの高校生による運動部の遠征合宿、自衛隊の中隊錬成訓練、農作業参加者及び町内イベント参加者の宿泊などに利用されていた。

また、今後の予定としては、本

州からの視察団の受入や画家の展示会など2団体延べ15人が11日間の利用を予定しており、来年の3月末まで随時利用の受付を実施している。

(5) 施設の活用の検証について

活用の実証期間の施設利用については無料としていることから、利用者から施設の充実に役立てるためのアンケート調査を実施している。



整備された施設を見学

調査時点でのアンケートの集計結果については、次のとおりとなっている。

① 合宿・研修先等を選ぶポイントについての問いに対しては、「施設の利便性や快適性」と回答され

た方が最も多く、次いで「施設の利用料金」「地域の受入体制」と回答している方が多かった。

② 施設の満足度については、「大変満足」「満足」と答えた方が約9割で残りの約1割は「普通」と答えており、「不満」「大変不満」と答えた方は無かった。また、満足と答えた方の理由では「施設がきれい」「スタッフが丁寧に説明してくれた」などの意見があった。

③ 施設をまた利用したいかとの問いに対しては、回答者全員がまた利用したいと回答されているが、中には「使用料金ほしい」と答えている方もいる。

④ 施設を利用する場合の妥当な利用料の問いに対しては、一人一泊2,000円又は3,000円と答えられた方がそれぞれ4割ずつあり、その他として貸し切りによる団体料金の設定があると良いとの意見もあった。

⑤ 施設の利用について、合宿以外での利用で考えられることはあるかとの問いに対しては、「サイクリングツアーやツーリングでの利用」「研修施設」及び「地域との交流施設」などの意見が出されていた。

⑥ その他、施設に対する意見として、「利用人数が多いときにシヤ



「クーが足りない」「合宿利用ではテーブル、椅子が少ない」「リビングが暗い」「駐車場が暗すぎて危ない」「エアコン、ごみ箱、時計が各部屋にあると良い」など参考となる意見が多数出されていた。

以上のアンケート結果などによる検証により、今後の施設の方角性としては、行政財産として目的及び使用料を設定した「(仮称)豊頃町多目的施設設置条例」を制定し「団体宿泊の受入」「展示会、教室の開催」「姉妹都市親善使節団の受入」「小学生の通学合宿の実施」又は「教育連携大学の拠点」などに利用し、施設の管理を有限会社十勝ロイヤルホテルや一般社団法人ココロコなど町内の宿泊施設を営む事業者に委託することも検討している。また、地域おこし協力隊を様々な業種で増加させ、将来的に町内での起業を目指す拠点施設とする案も検討されている。

その他として、施設を行政財産としないうで普通財産としておき、有限会社十勝ロイヤルホテルや一般社団法人ココロコなど施設の活用を希望する方に貸し付けるなどの検討も行っている。

(6) 施設の供用開始について
施設の供用開始時期については、令和6年4月1日を予定している

が、施設の管理方法、使用料の料金設定及び施設整備については、現在においてはまだ検討中であった。

2 まとめ

本調査では、令和5年度に実施している旧グループホームの活用についての実証事業の進捗状況及びその結果について現地視察を含め調査を実施した。

実証事業においては、無償貸付での利用であったため、ある程度の利用が見込めたところであるが、本格的な利用に向けては更に検討が必要であることが確認できた。

また、本町においては宿泊を伴う施設が「ココロコテラス」「農業農村サポート研修施設」の他に「十勝ロイヤルホテル」「エレゾエスプリ」及び「チョップステイクフライデイズ」があるが、それらとの連携についての検証もさせていない状況であった。

今後においては、施設を多目的に利用するのか、それとも施設利用の目的を絞って利用するのかを早急に決め、必要であれば目的に合った施設の整備を実施し、より効果的な施設利用を目指すことが必要ではないかとの意見や、実証事業の結果、施設の将来的な利用目的が定まらないのであれば、施

設を解体し町全体の施設整備計画の中で敷地の利用を検討しても良いのではないかとの意見も出された。

なお、施設の利用方法によっては、現在町内にある他の宿泊施設との競合も懸念されることから、そうならないような対策も検討することが必要との意見が出された。

また、旧グループホームの活用に当たっては、その殆どを町外からの利用者を見込んだものとなっていることから、施設の利用についての情報を地域住民に周知し理解を得ることが最も必要であり、地域に根差した施設としてその役割を十分に発揮することで地域の活性化が図れるのではないかとの意見も出された。



施設内装・設備の視察及び利用状況について聞き取り調査

議会日誌

- 〔12月〕
- 4日 議会運営委員会
- 7日 第4回定例会(1日目)
(補正予算、条例改正 ほか)
議員全員協議会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 12日 第4回定例会(2日目)
(一般質問、選挙 ほか)
議会広報特別委員会
- 〔1月〕
- 9日 議会広報特別委員会
- ◎今後の予定
- 〔2月〕
- 6日 令和6年第1回臨時会
産業厚生常任委員会所管事務調査
総務文教常任委員会所管事務調査
議員全員協議会
- 22日 議員全員協議会
- 26日 一部事務組合議会定例会
↳帯広市
- 〔3月〕
- 1日 議会運営委員会
- 6日 令和6年第1回定例会(1日目)
(補正予算、条例改正 ほか)
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 12日 令和6年第1回定例会(2日目)
(当初予算 ほか)
- 14日 令和6年第1回定例会(3日目)
(一般質問 ほか)
議会広報特別委員会